

		高畠町地域クラブ「T-S.P.E.C」の活動について Q&A 集
1	Q	部活動の地域移行については 2 年前から聞いていたが、進捗状況がわからず不安でした。保護者説明会では部活動種目ごとの話し合いを長めに設定してください。
	A	26 日の説明会において、各部ごとの打合せ時間を確保します。部ごとに具体的な内容を検討いただき、ご不明な点があれば気軽に問い合わせください。
2	Q	地域クラブ組織の保護者会の在り方について、任意加入となれば部活動とは別に保護者会を発足する必要があるのか。
	A	部活動と別に地域クラブでの保護者会を発足する必要があります。「各地域クラブ活動細則」に基づいて役員を選出していただくことになります。
3	Q	① 地域クラブに移行した場合、中体連の移動にスクールバスを利用すると一部負担金が発生するのか。 ② 普段の練習試合等で保護者が必要物品の運搬や送迎する場合が多いので、必要性がなければ送迎バスを利用しなくてもよいのか。
	A	① 土曜日の SB はこれまで同様午前便・午後便の運行が継続されます。中体連主催の大会での SB 利用は、中学校部活動として参加するので地域クラブとしての経費はかかりません。 ② 地域クラブとして高畠中以外で活動する場合は、状況に応じて保護者送迎、もしくは利用申請をしての SB 利用が可能です。なお、遠征時に SB を利用する場合は、これまでの部活動同様に毘龍レンタカーへの利用料負担が生じます。
4	Q	① 地区総体後の土日の部活動について 受け入れ先がない部もあると聞きくが、予定通り学校の部活動はなくなるのか。その場合、保護者会で練習会を設定しなければ活動できなくなるのか ② 土日の練習試合等について 平日練習の成果を試す練習試合等の機会は今後もあるか。また、そこでわかった技術的な課題を平日の部活動に反映できるか。 ③ 部員数減による合同チーム編成について、検討方法、運営ルール等はどのようなになっているのか。 ④ 平日の部活と土日の活動の指導者間の情報伝達はどうしていくのか。 ⑤ 意見 生徒・保護者が安心して活動に参加できる環境（土日の受け入れ先や体制等）が整ってからの移行をお願いしたい。移行の時期は 8 月と決まっており、受け入れ先が決まっていない部もあるという状況下での見切り発車は、生徒のモチベーション低下につながるように感じるので、検討していただきたい。
	A	① 地区総体後も 8 月まではこれまで通りの部活動となります。9 月以降の休日については、地域クラブでの活動に移行していきたいと考えています。9 月まで T-S.P.E.C の立ち上げが難しい部活動については、個別に事務局、学校、保護者会で活動方法を検討し柔軟な対応ができるように考えています。 ② 土日の練習試合等については、顧問と指導者と連携しながらこれまで通り計画できます。T-S.P.E.C の特長として、顧問・指導者・保護者会が連携して作る活動方針計画書を基に、指導内容の進捗状況、生徒の状況等に関する情報を共有しながら活動していくことになります。 ③ 団体種目において単独でチーム編成ができない場合は、中体連主催の大会において『山形県中学校体育連盟主催大会における複数校合同チーム参加規程』に基づいて、他校との合同チームを編成することが可能です。中体連以外の団体が主催する大会においては、各団体の参加資格規定に則った形での参加となるので、その都度確認が必要です。 ④ ②との重なる部分がありますが、平日と土日の指導者間（部活動顧問と地域クラブ指導者）の連携は必須であります。日常的に連携を強化することで、指導の質の向上、生徒の安全確保、部活動の持続可能性を高めることになります。これまで同様、顧問・指導者・保護者会間の連絡・調整のご協力をお願いします。 ⑤ 意見に対して 今年度は移行期間なので、体制・環境がある程度整った部活動から実施したいと考えています。そうでない部活動については事務局、学校、保護者会等が連携して課題を解決しながら設立に向かえればと考えています。特に、指導者の確保については、県・町の指導者バンクの活用やスポーツ協会等と連携しながら人材の確保に努めて参りたいと考えていますのでますのでご協力ください。

5	Q	① 昨年度からスタートしている部活の状況、問題点等はどうなっているか。 ② T-SPEC に申し込んでいるコーチ希望者の情報は各保護者会に提供されているのか。 ③ 平日の部活動に入っている生徒は地域クラブにも強制で入ることになるのか。
	A	① 昨年度、ソフトボール・柔道・剣道の3つの部活動でモデルケースとして活動していただきました。以下は経過報告から抜粋した内容になります。 ・剣道 休日の活動を部活動と地域クラブ活動を明確に線引きしながら進めている。 ・柔道・ソフトボールは、土日の活動はすべて地域クラブとして実施できている。 ・剣道・柔道の地域クラブとしての活動は、ほとんどが町の武道館で実施している。 ・ソフトボールは、中学校のグラウンド、ピロティ、町営第二体育館で実施している。 ・町の武道館は紙での利用申請が必要。中学校、町営第二体育館は町企画課が担当している LINE を使ったのオンライン申請。 ○3つのクラブについては減免団体登録等の対応を行い、部活動と同様の扱いで活動した。 ○指導者向けの県や町主催の講習会へ参加した。 ○実際に運営したことでの保護者会の役員の理解を得られた。 △中学校部活動、スポ少、地域クラブの3つでの活動となり、役員・予算・連絡手段等で煩雑さが出てきた。 △練習試合の調整の不安（これまでは学校間での調整、クラブ指導者では難しい面がある） △今後の継続した指導者の確保ができるかが心配 ② 26 日の説明会において町より各保護者会代表の方に提示させていただきます。今後、指導者の追加登録があれば保護者代表アドレスに町から連絡させていただきます。また、指導者を依頼した方で指導者バンクにまだ登録していない方へは、町 HP より登録していただくよう保護者会で依頼をお願いします。 ③ 地域クラブ加入は任意となります。ただし、学校の方針として、加入する場合は平日と同じ種目のクラブに加入することになります。
6	Q	① 地域クラブ指導者を選ぶ際は、町推進部が仲介もしくは、保護者会と共に働きかけなどをして対応していただけるか？ 保護者会と話し合いを持ちながら、その総意での指導者の人選を進めていただきたい。
	A	指導者は指導者バンクの中から（もしくは保護者会の依頼によって指導者バンクに登録された方の中から）、保護者会が依頼したい方を選出していただくことになります。そこから申請書を提出していただき、学校と事務局が承認した後、正式に委嘱となります。これも T-S.P.E.C の特長の一つであり、保護者会が推薦した方が指導者となるということになります。
7	Q	① 義務教育の間は今まで通り学校で部活を行うべきだと思う。 ② 先生の負担も分かりますが、家庭の事情で地域クラブに入れない人もいます。大事な成長時期に部活動が出来なくなるのはあまり良いとは言えないと思います。
	A	① 国・県の流れとして「<u>休日</u>は部活動を行わない」と方針が出されましたが、町としては生徒が活動する場が無くならないよう対応を進めてまいりました。変化の激しい社会において、子どもたちを地域全体で協力して育てていくことの重要性が叫ばれています。そんな中、中学生という大事な成長時期に「活動する場所がない」とならないよう、平日は学校で、休日は保護者・地域の方で子どもたちの活動機会を確保していけるようご理解とご協力をお願いいたします。 ② 高畠町では家庭への負担をできるだけ増やさないよう、受益者負担を抑える方向で動いております。また、これまで中学校を会場に活動していた部に関しては引き続き高畠中を利用し、SB も運行するようにして参ります。多くの方のご協力をいただきながら、可能な限り、生徒にとっては中学校部活動の一環として捉えられるような形で T-S.P.E.C の運営を進めていければと考えています。

8	Q	① 部活などは地域クラブに移行していくのと同時に、放課後の活動時間として中学校での勉強講習会などを展開してほしい。 ② 地域クラブに属さない子たちの放課後の時間もどのように活用していくか、検討していくべきだと思います。放置になるのは残念なことになりますし、中学生らしい健全な生活を送るためにも、地域クラブ以外の子の時間の在り方を検討していくべきです。
	A	① 国は 2026 年から 6 年間を部活動改革実行期間とし、平日部活動の地域展開も本格化するよう求めています。しかし、高畠町では平日の放課後は当面の間これまで同様、学校での部活動を実施していきます。今後、休日の部活動地域展開の実情を踏まえ、平日放課後の運用については検討していく必要があります。 ② 現在、部活動加入は任意となっており、帰宅後は外部機関でのクラブ活動や習い事、家庭での学習などに充てている生徒も増えております。生徒自らが望む帰宅後の健全な過ごし方を家族とともに考え実行していけるよう、今後ともご指導をお願いいたします。
9	Q	現在、地域クラブとして活動している団体がわからないのですが、自分で探さなければいけませんか。学校、町、教育委員会などから教えていただきたいです。
	A	① 高畠町としては T-S.P.E.C として、平日の部活動と同じ種目で、休日の地域クラブの準備をすすめています。自治体に登録しているスポーツ少年団やスポーツクラブ等は各自治体に問い合わせるか、HP で検索することができます。それ以外のチームであればネット検索がおすすめです。 ② T-SPEC 以外のチームへの申込は、町を通さず各団体に直接連絡を取ることになります。競技、チームによって所属する団体や、中体連大会への参加資格の有無など様々な違いがあります。各顧問や各クラブチームの代表者の方と丁寧に確認の上、所属するチームを決定していただきますようお願いいたします。
10	Q	吹奏楽部は、現在、学校のシャッター位置により、土曜日の開催は厳しいと言われています。でも、子供達の事を考えると、やるにはどうしたらいいか。実施することを前提での話し合いをよろしくお願いします。
	A	現時点では、2 階多目的教室を活動場所として想定しています。吹奏楽部の生徒の皆さんにはお手数をおかけしますが、金曜日のうちに楽器を社会解放施設側へ移動してもらいます。楽器は施錠できる部屋に保管し、活動日に指導者が開錠して楽器を取り出すことで活動できるよう準備して参ります。